読者がつくるページ

テーマ　一人で行ってみました

勝手にできた

群馬・前橋市　堀越百合子

家庭菜園で勝手に芽が出て枝が四方八方に伸びて、大きなカボチャが4個できました。

食べられるかなぁとおそるおそる包丁を入れると、固くて固くて、やっと切って、みりん、砂糖、しょうゆだけ入れて煮たら、まぁおいしい。ホクホクしてる。久しぶりにカボチャスープもつくりました。おすそ分けした人からも「おいしかったよ」と、どんな料理をつくったか教えてくれてうれしくなりました。

福岡・大牟田市　吉田眞由美（70）

願い

福井・敦賀市　山口久子

女性で、一国を動かす力を持っている人が、国民を戦争の方向へと引っ張ることはしないでください。平和な日本を創ると誓った日本国憲法を守り、世界の国々にへ発信してください。戦争で力で、世界平和は守られないことを！

車を手放して

岡山・津山市　村上京子

車を手放し、徒歩とバス・JRでの移動生活になって4カ月。バス停まで30分。外出するときは1日1万歩は歩いている。変形性膝関節症で、坂を下りるのはちょっとつらいけど、体重2キロ減。元の体重に戻るのを楽しみに歩いている。

防災費に予算を

埼玉・桶川市　遠藤　譲（73）

熊本地震に続き、千葉でも豪雨で死者が出ています。イタリアでは48時間以内にBTK（ベッド・トイレ・キッチン）がそろわなければならないという法律があり、きちんと被災者に支援が行われています。

日本は自然災害が多い国なのに防災力がとても低いと思います。不要不急の防衛費より防災費に予算をつぎ込むべきだと思います。

これってすごい

長野・白馬村　高橋英子

第二次世界大戦以降、戦争をしなかった国は、国連193カ国中、たった8カ国だそうです。その国とは…アイスランド、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、スイス、ブータン、そして日本。これってすごいことですよね。この事実を多くの人に広げ、憲法9条の力を大事に、と行動していきます。

雨不足で

山形・鶴岡市　何か楽しいことないかな

大水の被害のある地方がある一方、ここ庄内は雨が不足で、畑に水かけが欠かせません。

用水に水が流れてくるだけでも感謝です。

墓そうじが好き

大阪市　前垣　泉（70）

テーマ投稿「一人で行ってみました」の島根・松江市の村穂さまへ。

私もお墓のそうじが好きです。お彼岸2回と夏はお盆前、冬はお正月前に霊園に行って、一人でわが家の義理の祖父母、義父母の4人と、顔を知らない祖父の最初の妻にごあいさつ。独りごちながら蚊取り線香をたき、夏草を引き抜きます。

夫の気楽な海外暮らしの愚痴、孫の成長のようすや息子や娘の厳しい生活の心配…など語り、「みんな元気に生きてます。戦争のない地球にするためにがんばります」と手を合わせています。

憲法から見る

京都市　中村惠子

新しい「憲法講座」が始まりました。1941年生まれの私は、「長のつく人になれ」という父親の育て方が植え付けられていることを85歳にして痛感した内容でした。自分のくらしや考え方は憲法から見てどうなのかを点検しながら読みました。

川柳

・「繰り返さない」首相の言葉他人事　横浜市　三長良江（79）
・物価高　18時の売り場　人だかり　愛知・岩倉市　黒崎無人

迷う性分に決別して

長野・佐久市　小林弥生（80）

ああでもない、こうでもないと迷う性分に決別しようとがんばっている。一人で出かけてみよう！

4月は八千穂の美術館へ。8月は上田市立美術館へ。同じく8月に県立歴史館へ。それぞれ企画展なので、見学しごたえは十二分。ホームの階段を昇り降りして心身ともに疲れたが、少しは自信がついたかも。

気も晴れたし、今度は開催中の「古代エジプト展」（長野市の県立美術館）へ行こうっと。

パワーもらった

京都市　杉浦智子（69）

若いころ、平和や子どもたちの幸福を願う歌を仲間と一緒に歌っていましたが、ラジオから流れてくる美しいメロディーとせつない歌詞のフォークソングもよく聴いていました。あれから50年余。今もあのころの歌を聴くと胸がキュンとします。

今夏、京都会館での南こうせつさんのコンサートに初めて行きました。おなじみの「神田川」や「妹」など、やっぱり胸キュンでした。会場はこうせつさんと同年代の人ばかり。コンサートが始まるとその熱狂に圧倒されました。

生で聴く歌声とともに、パワーをもらいました。

おてんきてんきⅡ〈2064〉

RANKO

読者文芸　あなたも短歌

下村すみよ　選

国会前声あげ続ける母の胸にひっそり眠る小さき国民　茨城県　大吉　政枝

〈評〉結句がずしりと重たい一首。今は幼くて声を上げないけれどまさに立派な国民なんですよね。この子の未来のためにとがんばるお母さん。

両親を「トト」「カカ」と呼ぶ孫三歳車と虫をこよなく愛す　兵庫県　西上　文世

〈評〉何ともたくましいお孫さん。「トト」「カカ」と呼ばせる両親の望む子ども像そのものなのでしょう。

祖母に聞きし戦死の伯父の命日は無念さ滲む終戦七日後　和歌山県　川村さつき

〈評〉戦争が終わってからの戦死とは。大切な子息を奪われた祖母の思いを受け継ぐ作者。

「ひどいよね」話題は高市総理のこと今日もここから会の始まる　京都府　芦田　幸恵

〈評〉〝世界に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけ〟と媚びたり、初の女性総理でありながら女性天皇の道を閉ざしたり。

その昔子らと学んだ校舎跡二の丸広場よりデモスタートす　神奈川県　岡田　泰子

〈評〉懐かしい場所ゆえ思いも一入の様子。

夏なのにおかしいなあと思ってたおいでん祭りをおでんと読んで　京都府　花守　綾

〈評〉子どもの頃の楽しい勘違いの思い出。

再会を喜びくれる人数多花売り続け存えてこそ　和歌山県　矢野　淑枝

〈評〉作者は98歳。墓参用生花販売62年とのこと。花を介しての心の交流に胸を打たれます。

二十歳のころ可愛がってた三毛猫が　お盆にふっと夢に現る　長野県　礒野　智子

〈評〉ご先祖様の霊と一緒に来てくれたよう。

平和への祈りを込めし鎮魂歌うたい繋げよう「長崎の鐘」　北海道　前嶋三穂子

「久しぶり」と木下闇にて立ち話ふた言み言に汗は流れる　新潟県　今井　慶子

〈作品募集〉ハガキなどで編集部「あなたも短歌」係まで。作品は未発表のものに限ります。

原稿募集

☆テーマ：今、聴きたい音楽／家事、手抜きのススメ／1人で行ってみました

投稿や作品をお待ちしています。また、紙面への要望・意見などお寄せください。投稿は300字前後、短くする場合があります。住所・氏名・年齢・電話番号を、匿名希望の方はペンネームを書いてください。掲載した絵手紙は新婦人のSNSに転載する場合があります。

あて先　〒112－0002東京都文京区小石川5－10－20　新婦人しんぶん編集部
ファクス03－5805－2372
Eメール s-press@shinfujin.gr.jp